



# Jichi 地域連携ニュース

- ・副病院長就任のご挨拶
- ・教授就任のご挨拶
- ・専門看護師の活動状況
- ・NST研修会のご案内
- ・FAXによる患者紹介について

## 副病院長就任のご挨拶

### 麻酔科学・集中治療医学 教授 竹内 護



本年4月より副病院長を拝命致しました麻酔科学・集中治療医学講座の竹内 護です。中央手術部の手術適正化と中央診療運営部を担当致します。私は平成19年4月に自治医科大学とちぎ子ども医療センターに着任しました。平成22年11月より現講座の主任を拝命しております。手術適正化は既に委員会で議論して参りましたが、「手術室スタッフと麻酔科医の総労働時間を増やさずに手術症例を増やす。」ことを主題として取り組んでおります。病院長先生からは、高度先進医療を中心とした大学病院でしかできない手術医療の優先を命じられております。

中央診療運営部は各独立部門の集合体であり、病棟や外来診療運営部と比べてわかりにくいのが現状です。各中央部門の抱える問題点に取り組みますが、まずは癌患者の手術待機時間の減少を最初の課題として挙げています。

もとより浅学非才ではありますが、「職員を大切にす病院」を目指して頑張りたいと考えております。皆様のご指導、ご鞭撻をよろしくお願ひ申し上げます。

最後になりましたが、9月11日に横綱日馬富士が子ども医療センター片岡功一講師の仲介で、センターの慰問に来院してくれました。子ども達も職員一同も皆笑顔になり、横綱の力を強く思い知らされた楽しい時間でした。

## 教授就任のご挨拶

### 整形外科教授

### 竹下克志



整形外科教授として着任致しました竹下克志と申します。専門は脊椎外科です。東京大学附属病院では椎間板ヘルニアや腰部脊柱管狭窄症などの変性疾患とともに、小児と成人の側弯症を扱って参りました。

小児の側弯症は自覚症状に乏しい疾患ですが、進行した場合には成人期特に中年以降に呼吸不全や高度の腰痛など社会生活に大きな支障をきたしますので手術を進めることが少なくありません。症状が出てから、という考えがありますが、大人になってからですと手術の侵襲が格段に大きくなりますし、手術後も運動の制限や家族・会社の負担が大きいため、両親のサポートが得られ十分な治療時間を取ることが可能な学生時代があらゆる意味で適切な手術のタイミングです。

成人の側弯症は痛みだけでなく、逆流性食道炎の原因になることがわかってきました。痛みは体を動かすと強くなる特徴があります。いわゆる“腰曲り”ですが、以前そうした年配の世代の方はそもそも病院にいらっしやなかったと思います。しかし高齢者でも活発な社会活動を送られる方の多い現在では生活の質を維持したいという希望で手術を希望される方が少なくありません。さて、自治医大では地域医療とくに外傷に対するニーズが高いと感じております。

患者さんのニーズに応えられるように、院内体制を強化しつつ、一般開業の先生方や地域の病院との病診連携をより密にしていきたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

## 《専門看護師の活動状況》

### がん性疼痛看護認定看護師 中山章子

私は、消化器センター外科病棟に勤務しています。がんに伴う痛みのある患者さんやご家族の支援、医療用麻薬をはじめとする痛み止めに関する看護師への指導、緩和ケアチームの一員として活動を行っています。

がんの痛みは、“がん”と診断された時点で既に30%の方に出現していると報告されています。昔は、痛みを我慢することが美德とされ、痛み止めを常用するのは良くないとされてきました。しかし、痛みを長い間我慢すると、不眠になったり食欲がなくなったり、体の動きが制限され、気分がふさがちになります。また、強い痛みがあることで、必要な検査や治療が受けられなくなることもあります。



早めに痛みを取ることで、がんと向き合える体制を整えることができます。痛みの治療を早い時期に開始するためには、自分の痛みを、医療者に上手に伝えることが大切になります。本当の痛みの状態は患者さんにしかわかりませんので、まず表現をすることが重要となります。また、がんの痛みには、医療用麻薬が使用されることがあります。痛み止めを使用するにあたって、処方や使用方法が正しければ心配はありませんが、不安を抱かたも少なくありません。

痛みの伝え方、痛み止めの正しい薬の知識、痛み止め以外の痛みを和らげるための日常生活の工夫について、わかりやすく説明をさせていただき、患者さんやご家族と一緒に考えていきたいと思っています。そして、痛みが和らぐことで、その人らしく過ごすことができるよう支援していきたいと思っています。

## ♪♪♪ 附属病院からのお知らせ ♪♪♪

### ※ NST研修会のご案内

参加無料（申し込み不要）

会場 自治医科大学地域医療情報研修センター 中講堂（本館西側の茶色の建物）  
対象 NSTのための専門的な知識・技術を有する看護師・薬剤師及び管理栄養士の養成を目的とした研修  
問合先 臨床栄養部 NST支援室 ☎ 0285-58-7574 メール nst@jichi.ac.jp

演題	日程	講師
生体侵襲と栄養管理 NST事例報告	11月4日(火) 18時～19時	消化器外科 倉科憲太郎医師(NST運営委員長)
急性腎障害における栄養管理 腎機能低下時の経腸栄養剤	12月3日(水) 18時～19時	腎臓内科 小林 高久 医師 臨床栄養部 村越美穂 管理栄養士 (NST専従管理栄養士)
第17回下野栄養管理研究会 テーマ:がんの栄養管理	1月21日(水) 17時40分～19時	がん研有明病院 消化器センター部長 比企 直樹 医師

# FAXによる患者様紹介について

当院では、FAXにより患者様の事前予約を行っております。事前にカルテの作成等事務手続きを済ませておくため、受診当日の患者様の待ち時間が短縮されます。是非ご利用いただきますようご案内いたします。

**F A X 事前予約受付（休診日を除く）**  
**月曜日から金曜日まで 午前 9 時～午後 3 時《厳守》**

## －ご注意－

- ◆ 医療機関以外（患者様本人等）からの予約受付は行っておりません。
- ◆ 受診当日の予約、および時間予約は行っておりません。
- ◆ 予約を変更（又は取消）される場合は事前に**紹介元医療機関**から病診連携室までご連絡下さい。

## <FAX予約のご利用方法>

1. 紹介状（診療情報提供書）にご記入し、当院ホームページにより「FAX診療申込書（様式1）」と「保険情報連絡票（様式5）」をダウンロードのうえ、FAX送信して下さい。
2. 予約をお取りし、「FAX・紹介患者のお知らせ（返信）」と「FAXによる診療予約票」を返信いたします。
3. 患者様には「紹介状（診療情報提供書）」と「FAXによる診療予約票」をお渡し下さい。
4. 来院日には「紹介状（診療情報提供書）」と健康保険証をご持参いただき、「FAX 紹介状提示窓口」に提示するようご案内下さい。

